

八乙女駅

周辺地区



- ・旧奥州街道の県道22号仙台泉線と県道37号仙台北環状線が交差しており、かつて仙台鉄道（軽便っこ）市電の駅が立地していたこの地区は、古くから交通の要衝として発展してきました。
- ・地下鉄南北線開通後は駅にバスが結節するなどさらに交通の利便性が高められました。
- ・1960年代以降に順次開発された住宅団地が広がっています。

まちのトピックス



真美沢公園を美しくする会の取り組み

環境美化活動や緑化活動、イベントの開催などを通じて、公園の魅力を再発見するとともに、利活用のアイデアを出し合いながら、地域の皆さんのが集まる安心・安全な「コミュニケーションの場」の創造を目指しています。



仙台藩刑場跡における地域の取り組み

江戸時代以降に建てられた仙台藩処刑場の跡地で、後から刑死者の供養のため建立された仏堂や地蔵が残っています。地元の方々による除草作業などの維持管理や献花の活動が行われています。



杉ノ田花壇の整備

地域の景観形成やコミュニティ活性化を図るため、仙台泉線の歩道において、地元町内会が企業や学校などと連携して花壇づくりに取り組んでいます。

地区の魅力・資源

仙台市泉海洋センター、 コミュニティ・センター

適度な広さの体育館は、地域の同好会やサークルの利用に人気で、また、スポーツ教室やイベントも行われています。併設するコミュニティ・センターは集会等で利用されており、地域の交流の場として親しまれています。



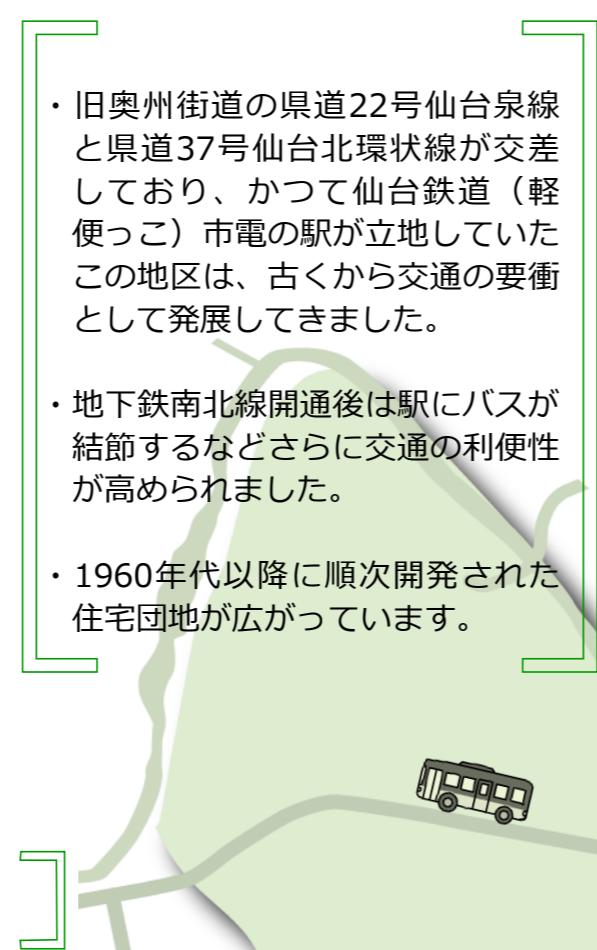
県営黒松団地

昭和30年代前半に、黒松山から北に向かう国有林を開発し造成が始まった、泉区域最初の大型団地です。



東北生活文化大学

1900（明治33）年創立の学校法人三島学園。1974（昭和49）年、仙台市清水小路三番地より全面移転完了。実学重視の教育を通じて地域文化の向上に寄与することを建学の精神とし、伝統ある教育機関として親しまれています。



八乙女

仙台藩刑場跡

肩掛山

県営黒松団地

東北生活文化大学

黒松

真美沢公園

肩掛山

かつて大正天皇がこの山頂から陸軍大演習を観覧し、記念碑が建てられました。住宅開発により小さな丘となった現在でも周辺の市街地を見渡すことができます。

真美沢公園

黒松団地の谷間を緑地として保全した公園で、公園内の堤に電車が影を落としながら行き交う様子は、この公園ならではの趣ある風景です。地域に親しまれ、イベントなどにも利用されています。

将来のまちの姿

交通利便性を生かした、暮らしやすく、賑わいに満ちたまち

交通の要衝としての交通基盤を生かしながら、駅前地区を中心とした土地の有効活用による住宅・商業機能の誘導や地域の活性化などにより、暮らしやすく、通勤・通学者で賑わうまちの形成を目指します。



該当する施策展開の方向性

方向性①	持続可能で日常生活を安全安心に過ごせる市街地環境の形成	
方向性②	駅を中心に便利で移動しやすい住宅地や交通環境の形成	
方向性③	暮らしの質を高める美しい街並み景観の形成	
方向性④	都市機能の集積・強化による都心の再構築と広域拠点の形成	
方向性⑦	まちづくり団体や地元商店街による地域の活性化	

取り組み施策

駅周辺にふさわしい土地利用や施設立地の誘導

1

継続

駅周辺の低密度利用となっている地区においては、土地所有者等への働きかけや各種制度を活用した支援などにより、駅前にふさわしい施設立地を誘導します。

2

継続

駅南側の事業所の移転跡地においては、土地所有者等への働きかけや各種制度を活用した支援などにより、駅前にふさわしい商業機能等を誘導します。

地域コミュニティの維持・活性化

3

継続

地域コミュニティの活性化が図られるよう、地域の憩いの場として親しまれる真美沢公園を活用した地域団体による取り組みを支援します。

4

継続

地域コミュニティの活性化や賑わい創出に向け、道路空間を活用し、地域や企業、学校などが連携して行う取り組みを支援します。

5

継続

仙台市八乙女土地区画整理組合からの出捐(えん)で創設された公益信託「仙台まちづくり八乙女記念基金」を活用した助成により、地域住民の創意工夫を生かしたまちづくりの取り組みを支援します。

災害に強い地域づくり

6

継続

七北田川やその支流の洪水による浸水が想定される地域においては、災害時に自らの命を守る行動がとれるよう、仙台防災ハザードマップやくらしのマップ、住民説明会の場などを活用し、防災情報の普及啓発に取り組みます。

7

継続

地域住民が安全・安心に暮らせるよう、宅地擁壁の専門家派遣制度や安全対策工事に係る助成金制度により、老朽化した宅地擁壁の作り替えを支援します。

8

中期

乗り換えるによる移動のため八乙女駅へのアクセスを重視したバス路線（フィーダー区間）において、乗り継ぎがしやすいダイヤ設定や、鉄道と路線バスの乗り換えに関する情報提供の向上などの実施に向けて検討を進めます。

公共交通の利用促進

10

継続

大学生の公共交通の利用を促進するため、通学に便利な大学周辺の交通情報マップを提供して、公共交通の利便性の高い地域への居住誘導や公共交通での通学を促す取り組みを、大学と連携して実施します。

安全安心な交通環境づくり

9

継続

歩行者や自転車、自動車が安心して通行できるよう、駅につながる県道仙台泉線において、自転車通行空間の整備を検討します。

